

Maxwell[®] RSC Stabilized Saliva DNA Kit (カタログ番号 AS1630) 簡易マニュアル

ご用意いただくもの

- ボルテックスミキサー
- ピペッター (P-200、P-1000)とそれらのチップ
- 唾液採取キット (Genotek Oragene・DISCOVER DNA Collection Kit
IsoHelix GeneFiX Saliva DNA Collection Deviceなど)
- オプション : RNase A Solution Cat.# A7973
1.5ml遠心チューブ
Proteinase K (PK) Solution Cat.# MC5005
ヒートブロック (56℃にセット)

唾液サンプルの採取

唾液サンプルは、唾液採取キットのプロトコールに従って採取する。

採取後、2日以上保存し、安定化させた唾液サンプルをご用意してください。

1. 安定化した唾液サンプルは、10 秒間のボルテックスにより十分に攪拌する。
2. 『カートリッジの準備』を行う。

オプション：唾液サンプルの採取

唾液サンプルは、唾液採取キットのプロトコールに従って採取する。

採取後、2日以内のサンプルは、下記前処理を行ってください。

1. 唾液サンプルは、10 秒間のボルテックスにより十分に攪拌する。
2. 1mlまでの唾液サンプルを1.5ml遠心チューブに移す。
3. 30μlのProteinase K Solutionを加え、十分に攪拌する。
* Oragene・DISCOVER DNA Collection Kitで保存した唾液サンプルでは、
Proteinase Kを加えずに、ステップ#4へ進む。
4. 56℃、1時間 処理する。
5. 『カートリッジの準備』を行う。

カートリッジの準備

1. 検体数分のカートリッジをMaxwell® RSC/CSC Deck Trayに立て、順にアルミシールを剥がす。
カートリッジの両端がカチッというまで、しっかりとセットする
注意：サンプル数が16より少ない場合には、Maxwell® RSC/CSC Deck Trayの中央部分をお使いください。

2. 同数のElution Tubeをセットし、150µlのElution Bufferを加える。

より高濃度のゲノムDNA溶液を得たい場合は、Elution Bufferを50µlまで減らすことができます。

Elution Tubeのフタは絶対に閉めないでください。



3. カートリッジのウエル8に、プランジャーを置く。

4. 1mlまでの安定化唾液サンプルをウエル1に加える。

ウエル1は最も大きなウエルです。カートリッジラベルに一番近く、Elution tubeからは最も遠い位置にあります。

5. (オプション) ウエル3に、5µlのRNase A Solution, 4mg/ml (Cat.# A7973)を加える。

* 溶出したDNAサンプルにRNAが多く混入する場合

6. Maxwell RSC Instrumentを起動し、Startから『Stabilized Saliva DNA/AS1630』を選択する。

7. Maxwell® RSC/CSC Deck Trayを、Maxwell® RSC本体にセットし、精製操作をスタートする。

精製終了後の操作

1. Maxwell RSC® Instrumentのドアを開け、Elution Tubeのフタを閉める。
2. Maxwell® RSC/CSC Deck Trayを取り出し、Elution Tubeを適切に保管する。
3. Maxwell RSC® Instrumentのドアを閉める。カートリッジとプランジャーを廃棄する。